第 1 章

準備する

パソコンを使う 8
パソコンを使ってできること 8
パソコンの環境について 10
接続方法の種類 12
USBドライバをインストールする 13
Windowsの場合 13
Macintoshの場合 14
アプリケーションソフトをインストールする ... 15
Windowsの場合 15
Macintoshの場合 17
カメラとパソコンを接続する 20
カメラをUSB端子に接続する 20
カメラをネットワークに接続する 23
カメラ側の設定について 25
Windows 98/MeのCOMポートの設定について .. 25

パソコンを使う

本製品とパソコンを接続すれば、さらに応用範囲は拡がります。

パソコンを使ってできること

パソコンとソフトウェアを使用すれば、次のような機能を使うことができます。

■ブラウザを使ったカメラコントロール機能を使えば

パソコンのブラウザを使って、「カメラが発信するホームページ」にアクセスすれば、次のようないろいろな機能を使うことができます。

●画像を見る、保存する

カメラのメディア（内蔵メモリーやCFカード）に記録されている画像を、パソコンの画面で見ることができます。画像は、一覧形式で見たり、実際のサイズで見たりすることができます。また、表示された画像（あるいは音声や動画）を簡単な操作でパソコンのディスク（ハードディスクやMOディスクなど）にファイルとして保存することができます。

●パソコン側のコントロールで撮影する

パソコン側からカメラをコントロールし、静止画や文字、動画を撮影したり、音声を録音したりすることができます。

●カメラのさまざまな設定を大きな画面で

パソコンの大きな画面を使って、アドレス帳や通信の接続先など、カメラのセットアップの設定を簡単に行うことができます。また、カメラの全設定をパソコンのファイルとしてバックアップすることも可能です。

参照 ・この機能を使うときは、この章の後半の説明にしたがって、ソフトウェアのインストールや接続の準備作業を終えた後、第2章「パソコンで画像を見る」、第3章「カメラを操作して撮影する」、第4章「カメラの設定を変更する」の各章をご覧ください。

■ JOB Navi. 撮影リストツールキットを使えば

JOB Navi. 撮影リストツールキットをインストールすれば、Microsoft Excel や Microsoft Wordの表や文書にしたがって撮影リストを生成し、拡張機能を使用してカメラに転送することができます。その撮影リストにしたがってカメラで撮影を行った後、再び元の表や文書を開けば、簡単に写真入りの表や文書が完成します。なお、JOB Navi. 撮影リストツールキットは Windows 専用です。

参照 ・JOB Navi. 撮影リストツールキットを使うときは、この章の後半の説明にしたがって、ソフトウェアのインストールや接続の準備作業を終えた後、第 5 章「JOB Navi. 撮影リストを使う」をご覧ください。

■ RDC-i Explorer Plug-In ／ RDC-i Mounter を使えば

RDC-i Explorer Plug-In（RDC-i エクスプローラプラグイン：Windows）や RDC-i Mounter（RDC-i マウンター：Macintosh）は、カメラ側に保存されている画像をパソコンのハードディスクにコピーしたり、パソコン上で作った画像ファイルやさまざまな設定ファイルをカメラ側にコピーしたりするための拡張機能です。また、カメラの全設定をパソコン側でファイルとしてバックアップする機能なども追加されます。

参照 ・RDC-i Explorer Plug-In ／ RDC-i Mounter の機能を使うときは、この章の後半の説明にしたがって、ソフトウェアのインストールや接続の準備作業を終えた後、第 6 章「拡張機能を使う」をご覧ください。

■ RDC-i TWAIN 機能を使えば

本製品用の TWAIN ドライバをインストールすれば、グラフィック系の TWAIN 対応アプリケーションソフトウェアから、直接カメラのメディア（内蔵メモリーや CF カード）に記録されている画像を画面に呼び出すことができます。

参照 ・TWAIN 機能を使うときは、この章の後半の説明にしたがって、ソフトウェアのインストールや接続の準備作業を終えた後、第6章「拡張機能を使う」をご覧ください。

■ダイレクト送信の受信側の設定

外出先などから、特定のパソコンに直接画像などを送る「ダイレクト送信」の機能を使う場合には、受信側のパソコンを正しく設定しておく必要があります。本書では、この設定方法も解説しています。

参照 ・受信側の設定を行うときは、この章の後半の説明にしたがって、ソフトウェアのインストールや接続の準備作業を終えた後、第7章「ダイレクト送信の受信側を設定する」をご覧ください。

パソコンの環境について

カメラとパソコンを連携して使う場合には､パソコンが次のような条件を満たしている必要があります。

■ Windows のインストールされたパソコンの場合

・次のいずれかの Windows がプレインストールされていること。

Microsoft®Windows®98（日本語版）
Microsoft®Windows®98 Second Edition（日本語版）
Microsoft®Windows®Me（日本語版）
Microsoft®Windows®2000（日本語版）

・USB ケーブルでパソコンと接続する場合には、パソコンに USB ポートが標準装備され、パソコンメーカーが USB ポートの動作保証をしていること。

・次のような容量のメモリーが搭載されていること。

Windows98/SE の場合	：32MB 以上 （推奨 96MB 以上）
Windows Me の場合	：32MB 以上 （推奨 96MB 以上）
Windows2000 の場合	：128MB 以上（推奨 256MB 以上）

・ソフトウェアのインストールには、ハードディスクに 6MB 以上の空きがあることが必要です。

・ブラウザでカメラにアクセスする機能を使う場合には､インターネットエクスプローラ（バージョン5）やネットスケープコミュニケーター（バージョン4.7）などのブラウザがインストールされている必要があります。

・ JOB Navi. 撮影リストツールキットを使う場合には、バージョンが 97 または 2000 の Microsoft Office（Microsoft Excel、Microsoft Word）がインストールされている必要があります。

補足
・TWAIN機能を使う場合には､TWAINに対応しているアプリケーションソフトウェアが必要です。
・本書では、Windows98 の画面を使って操作を説明しています。Windows のバージョンによっては、多少画面が異なる場合があります。
・ご使用になるブラウザの種類やバージョンによって画面表示が異なることがあります。ご了承ください。

■ Macintosh の場合

- USB ポートを標準装備している Macintosh で、USB ケーブルを使って接続する場合は、MacOS 8.6 ～ 9.1 の MacOS がインストールされていること。
- CPU として PowerPC が搭載されていること。
- メモリーが 96MB 以上搭載されていること。
- インストールには、ハードディスクに6MB以上の空きがあることが必要です。

補足

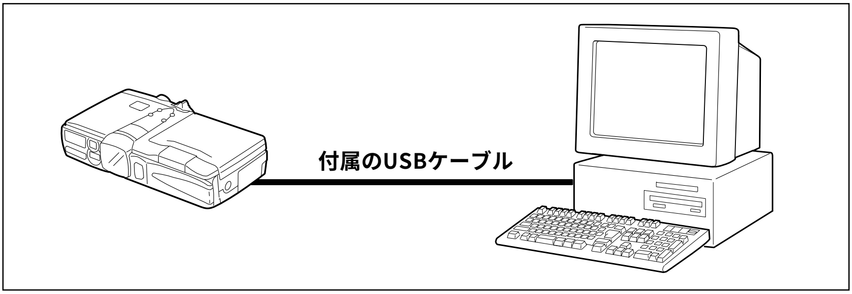
- ブラウザでカメラにアクセスする機能を使う場合には、インターネットエクスプローラ（バージョン 5）やネットスケープコミュニケーター（バージョン4.7）などのブラウザがインストールされている必要があります。
- Macintosh用日本語版インターネットエクスプローラ5をご使用の場合、正確に画面表示されない状態が発生することがあります。
- TWAIN機能を使う場合には、TWAINに対応しているアプリケーションソフトウェアが必要です。
- OS9より前のMacOSのインストールされているMacintoshを、ダイレクト送信の受信側パソコンに設定する場合には、別途Apple Remote Access（ARA）が必要となります。
- 本書では、OS9 の画面を使って操作を説明しています。OS のバージョンによっては、多少画面が異なる場合があります。
- ご使用になるブラウザの種類やバージョンによって画面表示が異なることがあります。ご了承ください。

接続方法の種類

カメラとパソコンを接続する方法には、次のような種類があります。ここでは、どの方法で接続するか決めておいてください。（実際の接続は、ソフトウェアのインストールが終わってから行います）

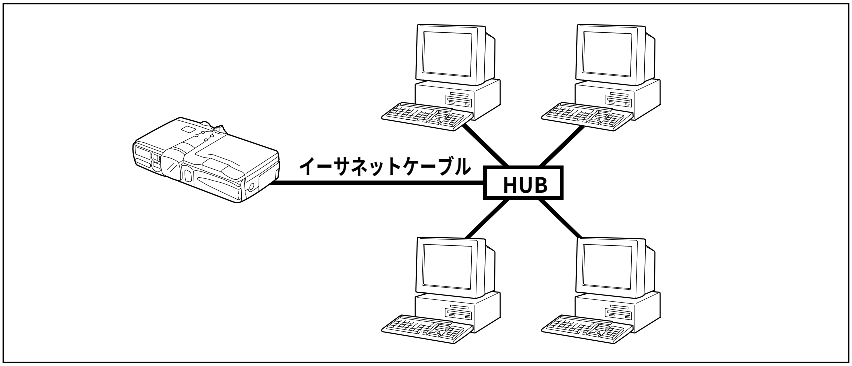
■カメラを USB 端子に接続する方法

カメラに付属している USB ケーブルを使って、カメラとパソコンを直接つなぐ方法です。



■カメラをネットワークに接続する方法

推奨の LAN 接続用カードを用いて、既存のネットワーク（イーサネットを使ったLAN）にカメラを接続します。複数のパソコンでカメラを利用する場合や、複数のカメラを利用する場合などに便利な接続方法です。



USB ドライバをインストールする

ここでは、USBケーブルで接続するために必要なソフトウェアをインストールします。
カメラとパソコンを、USBで接続する場合にのみ、この作業を行ってください。

重要
・ソフトウェアのインストールが終わるまでは、パソコンとカメラを接続しないでください。接続してしまうと、記載通りにインストールができなくなってしまいます。接続してしまった場合には、表示されたプラグ&プレイの画面で［キャンセル］をクリックして画面を閉じた後、ケーブルを抜いてください。

Windows の場合

Windows の場合には、次のような手順で USB ドライバをインストールします。

❶ パソコンの電源を入れます。
Windows が起動したら、次の手順に進みます。

❷ パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM をセットします。

❸［マイコンピュータ］をダブルクリックした後、CD-ROM をダブルクリックします。続いて［Usb drvs］フォルダをダブルクリックします。

❹［Setup］をダブルクリックします。



USB接続に必要なソフトウェアのインストールが始まります。画面に表示されるメッセージにしたがって作業を進めてください。インストールが終わったら次の手順に進みます。

補足
・インストールに関する最新情報などは、［Usb drvs］フォルダの［Readme］ファイルに記載されています。必要に応じてご覧ください。
・ドライバをインストールする前に USB ケーブルを抜き差ししたり、インストールを途中でやめるなどした場合には、カメラが不明なデバイスとして認識されることがあります。このような場合には、「困ったときの対処法」（P. 164）をご覧ください。

Macintosh の場合

Macintosh の場合には、次のような手順で USB ドライバをインストールします。

❶ パソコンの電源を入れます。

Macintosh が起動したら、次の手順に進みます。

❷ パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM をセットします。

❸ CD-ROM をダブルクリックします。続いて［Usb driver］フォルダをダブルクリックした後、［RDC-i USB Inst］をダブルクリックします。



RDC-i USB Inst

USB接続に必要なソフトウェアのインストールが始まります。画面に表示されるメッセージにしたがって作業を進めてください。インストールが終わったら次の手順に進みます。

補足

・インストールに関する最新情報などは、［Readme］ファイルに記載されています。必要に応じてご覧ください。
・この USB ドライバは、Mac OS-X で使用できません。

アプリケーションソフトをインストールする

ここでは、カメラを活用するためのさまざまなアプリケーションソフトをインストールします。

Windows の場合

Windows 用のアプリケーションソフトをインストールします。

■ RDC-i Software をインストールする

補足 ・このインストールでは、「RDC-i Explorer Plug-In」「RDC-i ダイレクト通信」「RDC-i USB/ シリアル通信プロセス」「RDC-i TWAIN ドライバ」「RDC-i スタンプ転送」がインストールされます。特定のソフトウェアだけをインストールしたい場合には、カスタムインストールを行ってください。なお、「RDC-i スタンプ転送」は RDC-i700 専用のソフトウェアです。

❶ パソコンの電源が入っていることを確認します。

❷ パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM がセットされていることを確認します。

❸ [マイコンピュータ] をダブルクリックした後、CD-ROM をダブルクリックします。続いて [RDC-i Software] フォルダをダブルクリックし、[Disk1] フォルダをダブルクリックします。

❹ [Setup] をダブルクリックします。



Setup

RDC-i Softwareのソフトウェアのインストールが始まります。画面に表示されるメッセージにしたがって作業を進めてください。

重要 ・上記の通りインストールを行うと、Windows の起動時に「RDC-i USB/ シリアル通信プロセス」というソフトウェアが自動的に起動し、タスクバーにアイコンが表示されるようになります。USBを使ってパソコンと接続する場合、このソフトウェアを終了すると、カメラとパソコン間の通信ができなくなりますのでご注意ください。

■ QuickTime をインストールする

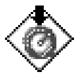
補足 ・QuickTimeは、カメラで記録した動画を見るときに必要なソフトウェアです。
・お使いのパソコンに、すでにQuickTime 4がインストールされている場合には、この作業は必要ありません。

❶ パソコンの電源が入っていることを確認します。

❷ パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM がセットされていることを確認します。

❸ ［マイコンピュータ］をダブルクリックした後、CD-ROM をダブルクリックします。続いて [QuickTime] フォルダをダブルクリックします。

❹ ［QuickTime Installer］をダブルクリックします。



QuickTime ソフトウェアのインストールが始まります。画面に表示されるメッセージにしたがって作業を進めてください。また、お使いのブラウザにQuickTime Web ブラウザプラグインを必ずインストールしてください。

■ JOB Navi. 撮影リストツールキットをインストールする

補足 ・JOB Navi. 撮影リストツールキットについては、「JOB Navi. 撮影リストツールキットを使えば」（P. 9）をご覧ください。

❶ パソコンの電源が入っていることを確認します。

❷ パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM がセットされていることを確認します。

❸ ［マイコンピュータ］をダブルクリックした後、CD-ROM をダブルクリックします。続いて［Image Capture Guide］フォルダをダブルクリックします。

❹［Setup］をダブルクリックします。



JOB Navi. 撮影リストツールキットのインストーラーが起動します。画面に表示されるメッセージにしたがってインストールしてください。

補足 ・「Excel 版」と「Word 版」のどちらか片方だけでも、インストールすることが可能です。

Macintosh の場合

Macintosh 用のアプリケーションソフトをインストールします。

■ RDC-i Mounter をインストールする

❶ パソコンの電源が入っていることを確認します。

❷ パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM がセットされていることを確認します。

❸ CD-ROM をダブルクリックします。続いて［RDC-i Mounter Inst］をダブルクリックします。



RDC-i Mounter ソフトウェアのインストールが始まります。画面に表示されるメッセージにしたがって作業を進めてください。

■ RDC-i TWAIN ドライバをインストールする

❶ パソコンの電源が入っていることを確認します。

❷ パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM がセットされていることを確認します。

❸ **CD-ROM をダブルクリックします。続いて［RDC-i TWAIN Inst］をダブルクリックします。**



TWAIN ドライバのインストールが始まります。画面に表示されるメッセージにしたがって作業を進めてください。

■ QuickTime をインストールする

補足
・QuickTimeは、カメラで記録した動画を見るときに必要なソフトウェアです。
・お使いの Macintosh に、すでに QuickTime 4 がインストールされている場合には、この作業は必要ありません。

❶ **パソコンの電源が入っていることを確認します。**

❷ **パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM がセットされていることを確認します。**

❸ **CD-ROM をダブルクリックします。続いて［QuickTime］フォルダをダブルクリックします。**

❹ **［QuickTime Installer］をダブルクリックします。**



QuickTime ソフトウェアのインストールが始まります。画面に表示されるメッセージにしたがって作業を進めてください。

■ RDC-iダイレクト通信をインストールする

〈補足〉・カメラのダイレクト送信の受け側となるパソコンの準備、設定作業などを行う際に必要なソフトです。

❶ パソコンの電源が入っていることを確認します。

❷ パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM がセットされていることを確認します。

❸ CD-ROM をダブルクリックします。続いて［RDC-i ダイレクト通信］フォルダをダブルクリックします。

❹ CD-ROMをダブルクリックします。続いて、［RDC-i ダイレクト Inst］をダブルクリックします。

ダイレクト通信ソフトウェアのインストールが始まります。画面に表示されるメッセージにしたがって作業を進めてください。



RDC-i ダイレクトInst

カメラとパソコンを接続する

カメラとパソコンを接続する方法を説明します。

カメラを USB 端子に接続する

USB ケーブルを使って、カメラとパソコンを接続する方法です。

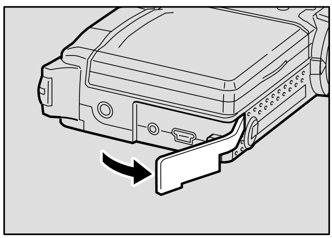
重要

・USB 接続は、必ず USB ドライバがインストールされている状態で行ってください。
・データ通信中はカメラのフラッシュランプ（赤色）が点滅します。カメラとパソコンのデータ通信中に、ケーブルを抜いたり、カメラの電源を切ったりしないようにしてください。カメラ本体やパソコン本体に影響を与えることがあります。
・カメラをパソコンと接続して使う場合には、カメラをバッテリーで使用するのはなるべくさけ、AC アダプターをご使用ください。特に、非圧縮ファイルや動画などの大きなファイルを扱う場合は転送に時間がかかります。通信中に電源が切れると、カメラ本体やパソコン本体に影響を与えることがあります。
・USB ハブを介してカメラを接続すると正しく動作しない場合があります。できるだけ USB ハブを使わないようにしてください。
・USB ポートから供給される電源ではカメラは動作しません。

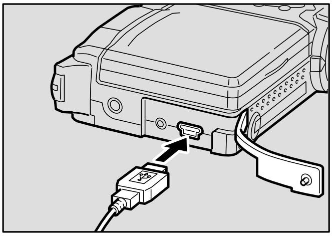
■ Windows の場合

本製品に付属の USB ケーブルを使って、カメラとパソコン（Windows のインストールされたパソコン）を接続します。

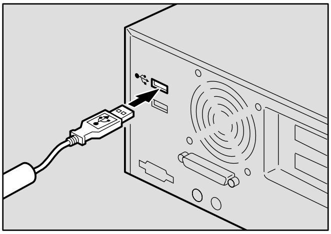
❶ カメラ左側の側面にある端子カバーを開きます。



❷ 付属の USB ケーブルの片方（小さな方）のコネクタを、カメラのDIGITAL（USB端子）に差し込みます。



❸ もう片方のコネクタを、パソコンのUSB端子に差し込みます。



❹ カメラの電源を入れます。

パソコンが自動的に接続された機器を検知し、処理を行います。何かメッセージが表示された場合には、そのメッセージにしたがって作業を進めてください。

これで、USB 接続の作業は完了です。
USBの接続を外す場合は、パソコン、カメラ間でデータのやりとりが行われていないことを確認した後、カメラの電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。

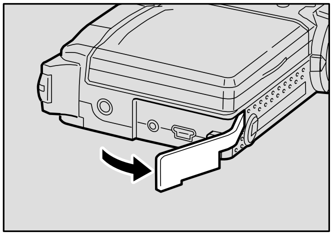
重要

- Windows　Me をお使いの場合、以下のように操作を切り替えるときには、必ず 10 秒以上の間隔をおいて行ってください。
  - 電源を切った後、再び電源を入れるとき
  - モードダイヤルを通信モードから他のモードに切り替え、再度通信モードに戻すとき
  - USB ケーブルを抜いた後、差し直すとき
- Windowsの「スタートアップ」にインストールされている「RDC-i USB/シリアル通信プロセス」は削除しないようにしてください。USB接続ができなくなります。

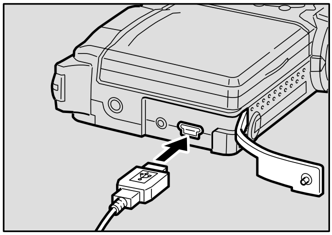
■ Macintosh の場合

本製品に付属の USB ケーブルを使って、カメラとパソコン（Macintosh）を接続します。

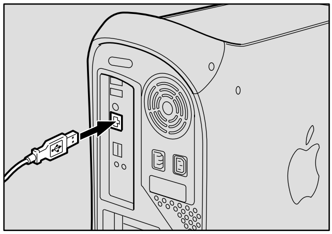
❶ カメラ左側の側面にある端子カバーを開きます。



❷ 付属の USB ケーブルの片方（小さな方）のコネクタを、カメラの DIGITAL（USB 端子）に差し込みます。



❸ もう片方のコネクタを、パソコンの USB 端子に差し込みます。



❹ カメラの電源を入れます。

パソコンが自動的に接続された機器を検知し、処理を行います。何かメッセージが表示された場合には、そのメッセージにしたがって作業を進めてください。

これで、USB 接続の作業は完了です。
USBの接続を外す場合は、パソコン、カメラ間でデータのやりとりが行われていないことを確認した後、カメラの電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。

カメラをネットワークに接続する

既存の社内ネットワークや家庭内ネットワーク（イーサネットを使ったLAN）にカメラを接続します。ここでは、CFカードタイプのLAN接続用カードを用いて接続する方法を説明します。

重要

・本製品は、10BASE-TのLAN接続（イーサネット）に対応しています。
・カメラをLANに接続する場合には、市販のLAN接続CFカードをご購入いただく必要があります。弊社で動作確認している機器、あるいは推奨する機器を、別紙「動作確認済製品一覧表」でご確認の上、お買い求めください。また、最新の情報についてはインターネットホームページ（巻末に記載）でご覧いただけます。
・カメラとパソコンのデータ通信中に、ケーブルを抜いたり、カメラの電源を切ったりしないようにしてください。カメラ本体やパソコン本体に影響を与えることがあります。（LAN接続の場合には、データ通信中でもフラッシュランプ（赤色）は点滅しません）
・カメラをパソコンと接続して使う場合には、カメラをバッテリーで使用するのはなるべくさけ、ACアダプターをご使用ください。特に、非圧縮ファイルや動画などの大きなファイルを扱う場合は転送に時間がかかります。通信中に電源が切れると、カメラ本体やパソコン本体に影響を与えることがあります。
・LAN接続カードのケーブル端子の部分には、触れないようにしてください。
・LANとUSBを同時に両方接続しないようにしてください。カメラ本体やパソコン本体に影響を与えることがあります。

■必要なもの

・接続先となるネットワークに合ったLAN接続用CFカード
・接続用のケーブル

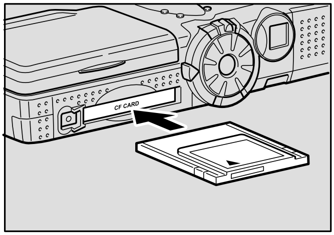
重要

・この方法で接続する場合には、CFカードスロットがLAN接続用CFカードで使われることになります。したがってCFカードに記録された画像を見たり、パソコンに送ったりすることはできません。この方法で接続する場合は、画像を内蔵メモリーに記録するようにしてください。

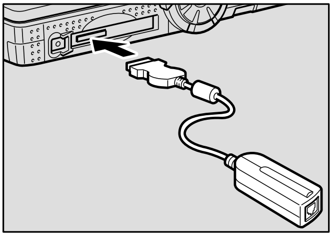
■接続する

❶ パソコンおよびカメラの電源が切れていることを確認します。

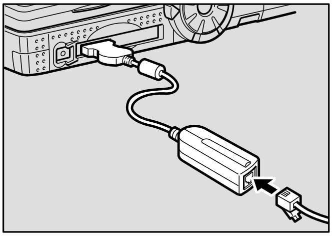
❷ LAN 接続用 CF カードを、カメラの CF カードスロットに差し込みます。



❸ 接続用ケーブルを、LAN 接続用 CF カードに差し込みます。

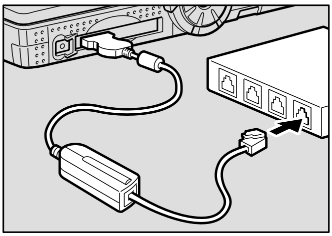


❹ 接続用ケーブルのもう片方のコネクタに、LAN用ケーブルのコネクタを差し込みます。



❺ LAN 用ケーブルのもう片方のコネクタを、LANのハブの空いている端子に差し込みます。

これで、カメラのLANへの接続作業は完了です。



カメラ側の設定について

通常、カメラとパソコンを接続したら、すぐにブラウザを使ってカメラにアクセスすることができます。これは、工場出荷の時点で、カメラ側のさまざまな設定項目が、一般的な状態に設定されているためです。
しかし、お使いのパソコンやLANによっては、このままの設定でうまく動作しない場合があります。このような場合には、付録の「パソコンと接続する場合のカメラの設定」（P. 154）をご覧になり、お使いのパソコンやLANに合った設定に変更してください。（多少、LANに関する知識が必要になりますので、ネットワークの管理を担当されている方にご相談の上、ご覧ください）

Windows 98/MeのCOMポートの設定について

Windows用のUSBドライバは、COMポートを仮想的に利用する機器としてカメラを扱います。
Windows 98/Meをお使いの場合、他の機器とCOMポートが競合すると、まれにドライバが正常にインストールされていてもカメラがうまく認識されないことがあります。
その場合は、以下の手順で使用するCOMポートを変更してください。

❶ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続し、カメラの電源を入れます。

❷ デバイスマネージャを起動します。

［スタート］ボタンから［設定］→［コントロールパネル］を選択します。開いたウィンドウ内の［システム］アイコンをダブルクリックします。［システムのプロパティ］ダイアログボックスから［デバイスマネージャ］タブを選び、選択リストから［ポート(COM/LPT)］を開きます。

❸［ポート(COM/LPT)］の［RICOH Camera Port ］を指定し［プロパティ］をクリックします。

❹［COM ポート指定(PortSelect)］画面から、他のCOM番号（COM5～9）に変更してください。

現在カメラが使用しているポートには後ろに「＊」がついています。